

服へのこだわりがある  
小学部低学年女児が  
スケジュールを活用して  
体操服を着るための指導

1

## 指導目標

### 【長期目標】

朝の着替えから帰りの着替えまでの間、体操服を着て学校生活を過ごすことができる。

### 【短期目標】

Tシャツを着脱することができる。

2

## 方法

### 【対象児】

F児（小学部2年生 女児）  
自閉性障害・言語発達遅滞  
LDT-R stage II S-M社会能力検査 3歳11ヶ月

### 【指導場面】

日常生活の指導

### 【般化場面】

学校生活全般

### 【教材】

リボン柄がプリントされたTシャツ  
「Tシャツきる」と「Tシャツぬぐ」のスケジュールカード



3

## 手続き

### 【ベースライン】



- (1) 提示されてある1日のスケジュールの間に、「Tシャツきる」「Tシャツぬぐ」のスケジュールカードをセットにして貼っておく。
- (2) 児童が「Tシャツぬぐ」のスケジュールの前にTシャツを脱いでもやり直さず、次の活動に取り組むよう促す。
- (3) 最初はTシャツを着ることができたら、「すごい」と拍手をして賞賛する。スムーズに取り組めるようになってきたら、過度に反応せず、見守るようにする。

4

## 手続き

### 【ステップ1】

- (1) 「Tシャツきる」と「Tシャツぬぐ」のスケジュールの間に、「あそびせんたく」のカードを貼っておく。
- (2) 「あそびせんたく」は遊べる時間をタイマーで示し、鳴ったら遊びを終えるよう促す。
- (3) Tシャツを着てから脱ぐまでの時間を計測する。



5

## 記録方法

- キッチンタイマーを用いる。児童がTシャツを着た時点でスタートボタンを押し、Tシャツを脱ぐまでの時間を計測して記録する。
- 「Tシャツきる」と「Tシャツぬぐ」の間どのようなスケジュールがあったかを記録しておく。

6

## 達成基準

- ❖ ステップ1：Tシャツを5分間着ることが出来る。
- ❖ ステップ2・3：スケジュール通りにTシャツを着脱することができる。（随時ケース会で検討する。）

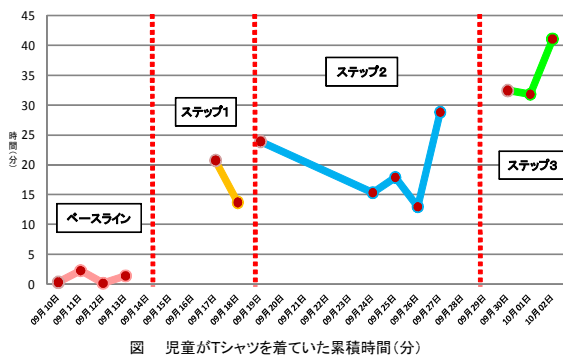
7

## 中止基準

- ❖ 「Tシャツきる」のスケジュールを取ることが拒否したり、着ることを拒んだりする事が2日続いたら、手立てを検討する。
- ❖ Tシャツを着てから、「Tシャツぬぐ」のスケジュールの前に、途中で脱いでしまう事が2日続いたら、手立てを検討する。

8

## 結果（1）



9

## 結果（2）

- ❖ ベースラインでは、Tシャツを着てから「Tシャツぬぐ」のカードを取る前に、10～20秒でTシャツを脱ぐことがあったが、記録の最終日（10月2日）は学校生活の内、40分以上Tシャツを着ることができた。
- ❖ 指導を始めてからは、Tシャツを途中で脱ぐことはなかった。

10

## 結果（3）

- ❖ 今まで着ることを強く拒否していた運動会用のTシャツを、「Tシャツきる」「Tシャツぬぐ」のカードを使用することで、着ることができるようになった。10月4日の交流学習には、このTシャツを着て参加することができた。（般化）

11

## 考察

- ❖ 「Tシャツきる」と「Tシャツぬぐ」のカードの間に、「あそびせんたく」という児童の好きな活動を入れることで、Tシャツを着る行動が強化されたと考えられる。
- ❖ 「きる」と「ぬぐ」のカードをセットで提示したことで、見通しを持つことができたと思われる。
- ❖ 今後はカードの間の活動の数を増やしていき、Tシャツや指定した服を、1日を通して着ることができるようしていきたい。

12

## 現在の取り組み

- 現在は、指定された冬服（トレーナー）を着ることができるように取り組んだ。
- その結果、トレーナーを着て、落ち着いて課題学習に取り組めるようになってきた。